



平成23年4月7日

各位

会社名 ラサ工業株式会社
コード 4022 (東証第一部)
代表者 取締役社長 柳萬雅徳
問合せ先 取締役総務部長 坂田 学
(TEL. 03-3278-3801)

東日本大震災による影響について(第二報)

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

平成23年3月14日にお知らせいたしました、このたびの震災に関する当社グループの現時点での確認されました状況につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 主な被災状況について

(1) 当社の事業所

宮古工場 (岩手県宮古市)

ガリウム(4N)については、設備への影響は軽微であり、現時点において一部の操業を開始いたしました。設備面では4月中旬に通常操業が可能となりますが、生産量が通常の状態へ復旧するのは5月中旬の予定となっております。

石油精製用触媒についても、設備への影響は軽微であり、4月5日より運転を開始しております。

三本木工場 (宮城県大崎市)

ユーティリティ関係では、工業用水だけが復旧しておりませんが、近日中に回復する見込みとなっております。各生産品目の状況は以下のとおりであります。

高純度赤燐については、設備に大きな損壊があり、現在一部の工程は復旧しましたが、通常操業は5月中旬を目指し作業を進めております。

高純度ガリウムについては、設備の一部が損壊したため、8割程度の操業を4月中旬より行うべく復旧作業を行っております。なお、通常操業は5月上旬を目指し作業を進めております。

高純度インジウムについては、一部の設備が損壊したため、4月4日より5割程度の操業を開始しております。なお、通常操業は5月上旬を目指し作業を進めてお

ります。

三酸化ホウ素については、設備への影響は軽微であり、現在通常操業を開始いたしました。

剥離剤については、設備への影響が僅少で、現時点で復旧作業は終了し、通常操業に移行いたしました。

ポリ塩化アルミニウムについては、設備への影響は軽微であり、4月4日より通常操業を開始いたしました。

他に、賃貸資産の一部に被害が生じておりますが、逐次復旧作業に取り組んでおります。

(2) 当社連結子会社の事業所

株式会社東北ラサ機械製作所（宮城県岩沼市）

工作機械の一部に影響がありましたが、現在一部の生産を開始しており、4月11日より、通常操業が可能となる見込みとなっております。

2. 業績への影響について

今回の震災における損害額ならびに業績に与える影響につきましては、現在調査中であり、重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以上